

# 北光

第 153 号  
平成24年10月25日



北光会 (<http://www.hokkokai.com>)

秋田鉾山専門学校  
秋田大学鉾山学部 同窓会  
秋田大学工学資源学部

## 目 次

北光会年会費について……………	1
山本作兵衛炭坑記録画展と講演会の開催について……………	2
巻頭言…………… 鈴木 功……………	3
会長便り…………… 菊地 芳朗……………	4
平成24年度第1回理事会・通常総会報告…………… 五十嵐 隆治……………	5
学部創立100周年寄附者御芳名……………	18
東日本大震災義援金寄附者御芳名・収支報告……………	18
寄 稿	
終戦前後の学生生活とエネルギー雑感…………… 小林 昭二郎……………	19
旧羽幌炭硯鉄道(株)跡地を訪ねて…………… 千葉 到……………	22
平成24年度東京支部山手線徒歩一周報告…………… 大山 宏……………	23
学生の声	
オープンキャンパス「頑張ったで賞」贈呈式が行われる……………	25
「頑張ったで賞」を受賞して……………	25
北光寮開寮100年の記念碑除幕式及び祝賀会…………… 菅井 幹夫……………	32
新刊紹介…………… 村山 肇……………	33
仙台セミナー・東北支部納涼大会に参加して…………… 川村 尚司……………	34
国際ワークショップの開催について…………… 徳重 英信……………	35
北から南から……………	36
母校便り……………	47
会員便り……………	49
事務局から……………	50
訃報……………	51
編集後記……………	52

# ～北光会年会費について～

払込用紙が2種類同封されております。  
 どちらかの用紙をご使用ください。

**1年分(3,000円)ご納入の方は下記の用紙をご使用ください。**  
 (コンビニまたは郵便局からのお振込)

卒業年・会員番号です。

過去未納入年度がある場合でも、今年度分の会費納入とさせていただきます。

**2年分・3年分・5年分、並びにご寄附の方は下記の用紙をご使用ください。**(郵便局からのお振込)

- ◆5年分(12,000円)は前納割引となっております。
- ◆北光会運営のためのご寄附を承っております。

- 該当する□に✓を入れ、金額欄に合計金額をご記入ください。
- 会員番号・卒業年は上記をご参照ください。

## 山本作兵衛炭坑記録画展と講演会の開催について

九州筑豊炭田の炭坑労働者だった山本作兵衛氏（1892～1984）が炭鉱の様子や労働者の生活を描いた炭坑記録画展を附属鉱業博物館で、また、作兵衛氏に関する講演会を秋田市内のホテルを会場に開催いたします。

山本作兵衛氏は、筑豊炭田で約半世紀にわたって働き、60代になって絵画を描き始めました。炭坑労働者でなければ描くことができない明治中期の坑内・坑外労働、施設・管理、生活、縁起などをテーマにした絵を力強いタッチで描き、その一枚一枚には解説文も書き込まれています。

今回の記録画展は、作兵衛氏と親交のあった福岡県田川市在住の秋田鉱山専門学校採鉱科昭和23年卒業の角銅立身氏が所有する原画2点と、2011年に国際連合教育科学文化機関（ユネスコ）の世界記憶遺産に登録され田川市が所有する585点のうち50点の記録絵画を鉱業博物館企画展として開催するものです。

また、講演会では、山本作兵衛氏と親交があり、そこで知り得た人となりを中心としたことを角銅立身氏に、そして絵画の特色、特長の紹介を中心としたことを作兵衛絵画に造詣の深い田川市石炭・歴史博物館館長の安蘇龍生氏にご講演いただきます。

### 1. 附属鉱業博物館企画展

山本作兵衛炭坑記録画展

開催期間 平成24年11月6日(火)～同25日(日)

開催会場 附属鉱業博物館2F特別展示室 TEL018-889-2461

開館時間 午前9時～午後4時

### 1. 講演会

角銅法律事務所 弁護士 角 銅 立 身 氏 (BS23)

演 題「山本作兵衛さんの生き立ちと筑豊の炭鉱の画かれた世界」

(記録としては日本の資本主義の苛烈な収奪の克明な歴史画である。飯沢 匡 1980年8月17日)

田川市石炭・歴史博物館館長 安 蘇 龍 生 氏

演 題「世界記憶遺産と山本作兵衛」

開催日時 平成24年11月17日(土) 午後2時から

開催会場 秋田ビューホテル5F

(秋田市中通2-6-1 TEL018-832-1111)

聴講自由（無料）ですので、会員以外の方もお誘い合わせの上ご参加下さい。なお、申し込みは必要ございません。直接会場にお越し下さい。



## 材料開発とその応用が世界をリードできる

東海・北陸支部長 鈴木 功 (MS40)



昭和39年10月1日新幹線が開通、10日東京オリンピックが開催、日本が高度成長の波に乗る翌年の昭和40年に小生は社会人となった。その頃は電気・機械工業分野では文献や実物の調査等、欧米の技術を吸収すべく、追いつき追い越せの時代

であったが、今や日本の技術水準は世界をリードするに至った。小生が取り組んで来た超高速及び可変速回転電機は、あらゆる産業分野に於いて、機械式から電機式に置き換わりつつある。その最も顕著なものは電気自動車用同期モータであろう。これは超高力磁石材料（希土類系）とその適用技術の出現によって実用化されたものである。また音速を超える周速を持つ回転体駆動には磁気特性が良く、高強度のモーターロータ材が求められる。場合に依っては、他社との共同研究開発もあり、各社の技術競争と交流が求められる。また機械式から電機式に変わったものとして、ベルト駆動から個別機器可変速駆動に代わった繊維産業用回転機器、そして、CO<sub>2</sub>削減・騒音低減化の為、建設機械用油圧ショベルのエンジン駆動から、エンジンと同期モータのハイブリッド化等がある。また、スカイツリーや台湾101ビル等の超高層ビル用エレベータも可変速駆動モータの出現により高速・低振動・低騒音化に成功し、最近の話題になっている。他にも印刷機械分野、射出成型機等にも可変速駆動システムが採用されている。

秋田大学工学資源学部は石炭・石油に始まり、その採掘と応用技術で世の中をリードしてきた。最近世界的にはレアアース材料が不足しているが、埋蔵されているレアアース資源は中国以外にも相当量あり、その採掘技術は欠かせない。そして前述のように新しい材料開発が新しい技術を生むことになる。正に世界をリード出来る工学資源学部と云える。

会社勤務の頃、10年間ほど日本機械学会東海支

部の評議員として、東海地区の大学の先生や各会社の役員等々との交流があり、日本機械学会の発展に微力を尽くしたことがある。東海・北陸地区は愛知県での自動車のトヨタ、航空機の三菱重工業、そして岐阜県は繊維産業や、石灰石採掘と関連事業、三重県は鋳物砂の産地であることから鋳物フレームを使った汎用電気機器メーカーである東芝、富士電機等、自動車のホンダ関連企業、また北陸富山県は豊富な電力を利用したアルミ精錬、アルミサッシ、自動車部品、半導体工作機械等、石川県は絹織物、加賀友禅、金箔で代表される伝統工芸等多くの産業があり、発展してきた。従って東海北陸支部会員数も、年々増加する一方であり、平成24年3月31日現在、1,353名に達した。この傾向は更に続くものと考えている。

尚、小生、54歳で新しい天地を求めて仙台で会社生活を送ることになり、東北支部の方々には大変お世話になった。暑い夏の七夕の頃に行われた仙台寮歌祭、冬のイルミネーションで飾られた繁華街での新年会等各種行事に参加することが出来、北光会のお陰で、小生にとって終生忘れえぬ思い出となった。

支部活性化の一環として、年一回の支部総会のみ行事から脱却し、前支部長時代からの努力による企業毎のミニ集会、今年で5回目の富山宇奈月温泉での北陸地区交流会、春秋年2回のゴルフ大会、3回目となる陶芸教室、昨年からご婦人も出席の新年会、さらに今年から新たにハイキング大会を予定する等、様々な行事を企画・実施し、「北光」誌に掲載している。また最近では長野・静岡等、当支部以外からの参加者も増えつつあり、より一層支部が活性化してきていることは喜ばしい。そして、これからは各会員が持っている技術の紹介・討論など会員の業務遂行の一助となる様、会員同士の情報交換をして行きたい。そのためにも各会員の連絡網を確立して行きたい。平成20年4月支部長に就任以来、今年で5年目となった。東海北陸支部は会員が気軽に連絡し合い、仕事への貢献は勿論のこと、充実した人生が送れるような支部に行きたい。

創立100周年記念事業、協力に感謝 ～11月17日 記念会解散～

菊地 芳朗 (GS34)



今年は集中豪雨など天災の多い年となりました。地球温暖化によるものでしょうか。

災害に遭われました皆様には、心からお見舞申し上げます。

9月1日は「防災の日」ですが、仙台において松富英夫先生を講師に迎

えて「東日本大震災から学ぶ津波の想定と対策」を演題として「秋田大学工学資源学部仙台セミナー」を行いました。会員以外の方も含めて多くの参加者から活発な質問もあり、関心の深さを感じました。

このセミナーは、平成16年に大学が法人化され、これからの大学は社会に今まで以上に情報を発信することが必要と、北光会もお手伝いして始めました。

既に、東京で16回、大阪で6回行われ、この度仙台で初めて行った次第です。東北支部の皆様にはご協力を頂き、お陰で無事セミナーを終える事が出来ました。お礼申し上げます。

セミナーに先立ち、昨年見ました津波の被害跡を再度見てきました。田圃に生い茂った草は刈り取られ、点在してありました自動車やタンクなどの流出物は撤去されておりました。避難していた地域には一部の住民の生活も始まっておりました。しかし、全体から見ると復旧・復興が思ったより進んでいないと感じました。

8月29日、政府の有識者会議が「南海トラフ地震が発生すると最悪のケースで32万人死亡」と発表しました。これから如何に「減災」していくかが求められることになるでしょう。

創立100周年記念会の募金ですが、8月31日現在、募金額は4,567名(件)総額2億561万円で、その内訳は

企業	264件	5,973万円
篤志家	22名	153万円
教職員	182名	1,140万円
学部後援会	15回	3,512万円
北光会	4,084名	9,783万円

であります。

創立100周年記念事業は、旧校舎を模した建物

も10月末には完成し、二階の一角に北光会が入居することになりました。

この様なことから来る11月17日に記念会を解散することになりました。多くの会員の皆様から頂きましたご協力に心から感謝申し上げます。

記念会解散と時を同じくし、九州支部の角銅立身氏(BS23)所有の世界記憶遺産、山本作兵衛さんの炭鉱画展示会を鉱業博物館で行います。詳細は本誌2頁の案内をご覧ください。

東日本大震災の義援金募金につきましては、150名の皆様から1,029,219円の浄財を賜り、38名の被災された皆様に義援金として送らせて頂きました。有難うございました。

最近の新聞記事に「脱原発、過半が望む」とありました。これは2030年時点の原発依存度を調べた結果、原発比率0%と答えたのが70%近くありました。これを実現するには代替エネルギー源、温暖化対策、経済問題など多くの課題があります。

代替エネルギー源には風力発電や太陽光発電などの再生可能エネルギーと火力発電等がありますが、再生可能エネルギーには多くの課題が残っております。当面は火力発電が主流とならざるを得ません。これに対する燃料として天然ガスがあります。

最近、シェールガスが話題になっております。これはシェール(頁岩)層から採取されるガスで、従来のガス田ではない場所で、シェール層を人工的に破碎してガスを生産することから、非在来型天然ガス資源と呼ばれております。

ここで世界の天然ガスの埋蔵量はどの位かと云いますと、色々な数字が出ておりますが一例を申し述べますと、在来型の天然ガスの確認可採埋蔵量から計算した可採年数は60年と云われております。これに対し非在来型の可採年数は100年を超すと云われており、これらを合わせると少なくとも160年を超えるのは確実と云われております。このことから天然ガス価格の引き下げと火力発電の燃料としての利用が期待されております。しかしながら火力発電の燃料は輸入に頼らなければならないこと、これは代わりません。日頃の節電が大切である、と云うことでしょうか。

北光会は皆様の会費で維持されております。会費納入率の向上にご協力下さい。

## 北光会事務局が移転します！

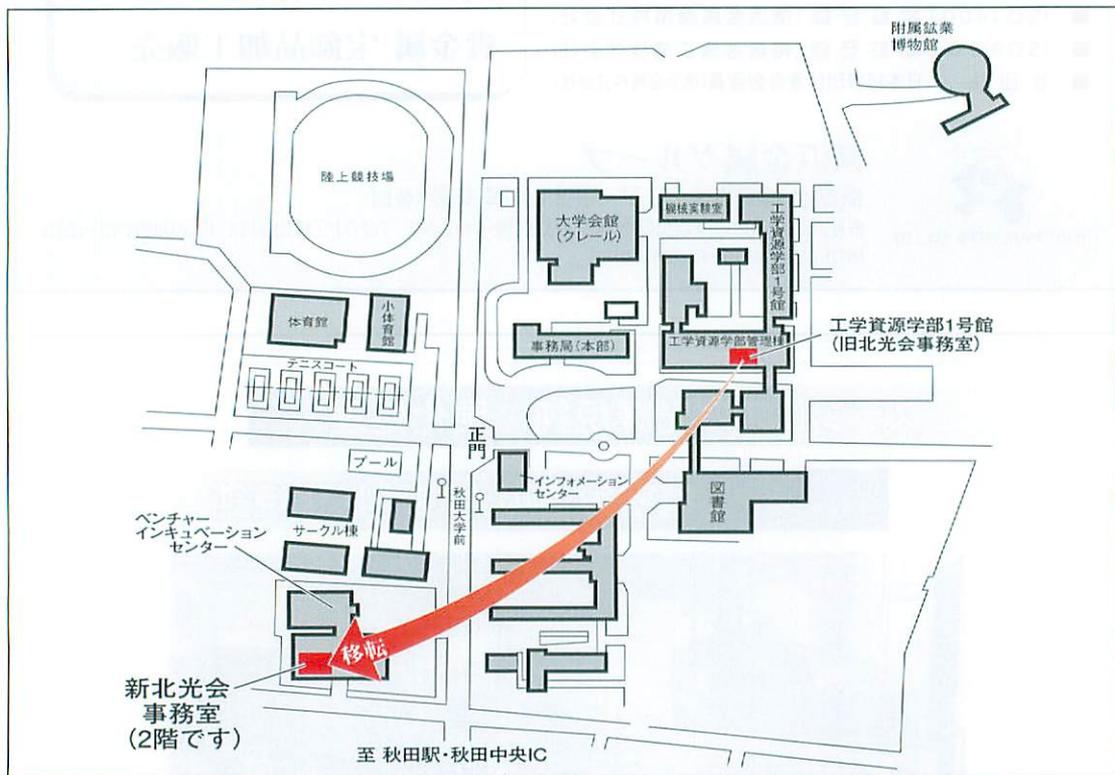
「旧鉱山専門学校本館」を復元した建物が10月下旬に完成し、完成と同時に北光会事務局が移転します。場所は、大学正門から道路を隔てた斜め向かい、「秋田大学ベンチャーインキュベーションセンター」とつながった建物で、2階の一角が新しい北光会事務局になります。11月以降に北光会事務局にご来室の方はお電話で確認の上おいでくださいますようお願いいたします。

住所・電話番号は従来どおりです。

〒010-8502 秋田市手形学園町1-1

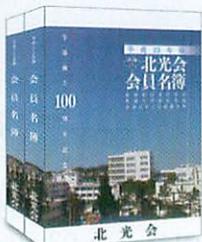
秋田大学工学資源学部内 北光会

TEL・FAX 018-835-9822



### 平成23年版北光会会員名簿について

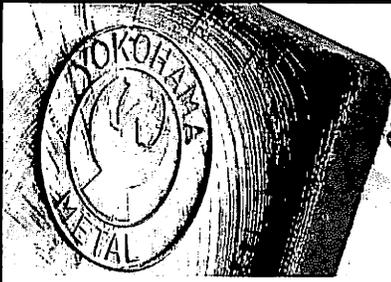
昨年、学部創立100周年を記念して「平成23年版北光会会員名簿」が発行されました。従来の名簿形式のほか、昭和初期から現在に至るまでの懐かしい写真もたくさん掲載されています。部数が残りに少なくなりました。お求めの方は至急北光会事務局までご連絡下さい。



価格：6,000円(送料込)



北光会の旗兼風呂敷  
-ダイヤモンドのごとき固い絆を旗頭に-  
販売価格：2,000円(送料込)



# 横浜金属株式会社

終わりのない鉱脈は、都市にある。

創業  
1939

**Gold Silver Platinum Palladium Rhodium Ruthenium**

- 社団法人日本金地金流通協会正会員
- L.M.E.(ロンドン金属取引所)銀地金公認ブランド
- 東京工業品取引所 銀地金受渡供用品指定ブランド
- 東京工業品取引所 銀地金指定鑑定業者
- 日本工業規格認証取得工場(銀地金)
- ISO9001認証登録(横浜金属株式会社)
- ISO14001認証登録(横浜金属商事株式会社)
- ISO9002認証登録(裕昌金属工業株式会社)
- 社団法人日本経済団体連合会会員(横浜金属株式会社)

貴金属 精製・精錬

貴金属 歯科材精製・材料販売

貴金属 工業材料

貴金属 宝飾品加工販売



YOKOHAMA METAL CO.,LTD.

## 横浜金属グループ

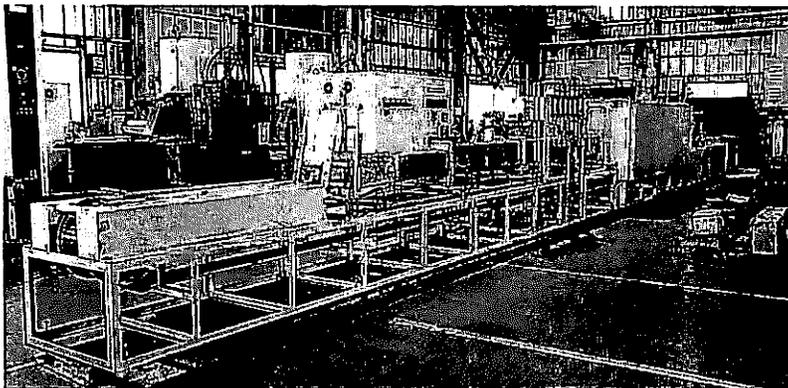
横浜金属商事・JCY・裕昌金属工業(韓国)

本社/〒252-0132 神奈川県相模原市緑区橋本台3-5-2 Tel.042(773)4411 Fax.042(773)4775

<http://www.yk-metal.com>

ステンレスの光輝焼鈍・硬化処理

精密鍛造の光輝球状化焼鈍



## 株式会社 サーマル

〒173-0014 東京都板橋区大山東町38-8

Tel.03-3962-4011 Fax.03-3963-0694

URL <http://www.e-thermal.co.jp> E-mail [thermal1@sepia.ocn.ne.jp](mailto:thermal1@sepia.ocn.ne.jp)